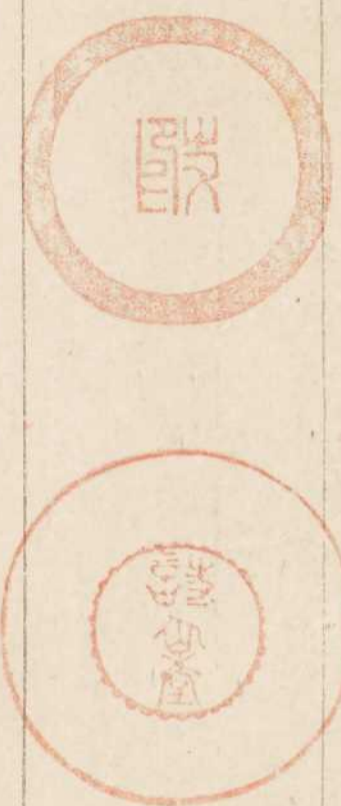


澹然樂道娛
 自脩憑榻睡
 僕返歎門吟
 林外雀追母
 空中燕哺雛
 生平疎酒肉
 產太味詩腴
 若一章予果吟也
 六、山人操筆於
 凹凸窠之詩仙堂



..... センチュリー文化財団寄託品展覧会

書と生きる

—江戸人の文雅愛好

平成 26 年 11 月 5 日 (水) — 11 月 28 日 (金) 入場無料

第 1 会場 慶應義塾図書館展示室 平日 9:00-18:20 土曜 9:00-16:50
 日・祝日・11 月 21 ~ 24 日 休館

第 2 会場 慶應義塾大学アート・スペース 平日 10:00-17:00
 土・日・祝日・11 月 21 ~ 24 日 休館

Living with Calligraphy in the Edo Period

過去の文人たちの人となりやうかがい知るよすがとして、墨蹟ほど好適のものはありません。眼の前の遺墨を介して、そこに表象された文人たちのすがたどころに思いを馳せることは、ときに写真など及びもしないほど強烈な印象を与えてくれます。またそのように書を楽しむ文化は、江戸時代の日本において幅広い層に浸透しました。本展示では、江戸の文人たちの遺墨を通じて彼らによる文雅の世界を鑑賞していただくとともに、江戸人たちの日々の営みのなかで、書というものがどのように使われていたのかの実態を垣間見せてくれる資料を展示致します。書く・掛ける・学ぶ・鑑定する・蒐集する・模写する・売買する…近世日本に華ひらいた多様な書の文化史をご紹介します。

【お問合せ】慶應義塾大学附属研究所斯道文庫 03-5427-1582 <http://www.sido.keio.ac.jp/>

【主催】慶應義塾大学附属研究所斯道文庫、慶應義塾大学アート・センター、慶應義塾図書館【協力】立教大学図書館